

松居総領事スピーチ：新年賀詞交換会

令和8年1月15日

於：総領事公邸

1. 冒頭

皆様、新年明けましておめでとうございます。健やかに新しい年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

新年会の趣旨に照らし、日本語にてご挨拶申し上げます。

本日は、オークランド日本人会、オークランド日本経済懇談会（二水会）、オークランド日本語補習学校、ジャパン・ビジネス・クラブ、ワイタケレ日本語補習校及びハミルトン日本人会ほか皆様よりご出席を賜り、新年を迎えられますことを大変嬉しく思います。

ご出席の皆様におかれましては、日頃より当館の活動に対し、多大なるご支援とご協力を賜っております。日本とNZとの関係の強化、さらに各位の得意と情熱、ここぞという時には大和魂をもって多様なオークランドの社会における日本人コミュニティの発展、そして両国の未来を担う子供たちの教育、日本の文化や言語、価値観の継承等にご尽力をいただいております、改めまして心より御礼申し上げます。

2. 昨年の振り返りと来年に向けた抱負

(1) 概観

日本とNZは、民主主義、法の支配、人権、人間の尊厳といった基本的価値観を共有しており、「戦略的協力パートナーシップ」に基づき、様々な分野で連携を強化してまいりました。経済分野においては、「環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定」（CPTPP）の発展に取り組む重要なパートナーとして、ルールに基づく自由で公正な国際経済秩序の維持と強化に取り組んでおります。

昨年を振り返りますと、地政学的、経済的に様々な課題に直面し、私たちを取り巻く環境は決して平坦なものではありませんでした。そのような困難な状況の中にあっても、両国は外相会談や国際会議の機会での首脳間の懇談、政務経済協議などを通じ、緊密な連携をしてきました。

(2) 日本人コミュニティ

ここオークランドにおいては、日本のプレゼンスは客観的に拡大傾向にあります。在オークランド日本国総領事館管轄の在留邦人は昨年、12,977 人となっており、うち約 85%に当たる 10,952 人が、オークランド在住です。前年に比して、578 人の増、4 年連続で増加しています。ハミルトン市があるワイカト地方は、888 人で、1 年で 70 人ほどの増です。日本人コミュニティが大きくなり、多様化していく中で、どのような形で親睦と祭りのハブとして日本人会が活動していくのか、福岡市は今年オークランド市と 40 周年を迎えますが姉妹都市交流などを通じた友好関係を発展させていくのか、会の内外で語り合い、会員との懇親会や学生・社会人向けなどを通じ、セミナー創造的な視点や若い方の視点や関わりも取り入れながら試行錯誤も厭わず、日本人の楽しみ、安心や誇りに繋がる取組を期待し応援していきたいと思います。

今月下旬には、総領事館がオークランド市と共催する第 7 回 Kids Japanese Festival を予定しております。折り紙、伝統的な玩具、浴衣などの体験を通じて地元の子どもたちが遊びと触れ合いを通じ、日本文化を体験していただく機会を提供します。この行事をサポートいただける Japan Kauri Education Trust ほか関係者の皆様に感謝申し上げます。また 2 月下旬にはオークランド日本人会が中心となってジャパン・デーが予定され、会長始め役員、会員の皆様方と心一つに盛り上げていきたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いします。

(3) 日系企業

在オークランド日本国総領事館管轄の日系企業拠点数は昨年、174 拠点となり、昨年に比して、8 拠点の増、3 年連続で増加となりました。このうち特筆すべき傾向は、日本人が海外に渡って興した企業が約 6 割と過半数を占めており、宿泊業や飲食サービス業が多くなっている点です。本年、初めて、ジャパン・ビジネス・クラブより、この賀詞交換会に参加をいただきましたが、今後、本邦企業が出資する現地法人と同様、日系の個人事業主や中小企業の方とも連携を強化していきたいと考えております。

NZ 経済動向は、まだら模様との見方が大勢ですが、金利低下と堅調な輸出や消費を背景に、回復に向かうと予想との考えも強く、少し明るさが出てきた印象があります。

昨年 11 月下旬には、ロトルアにおいて、日 NZ 経済人会議第 51 回合同会議 (JNZBC) が開催され、私も出席して参りました。日 NZ 合わせて約 200 人の企業や政府関係者が参加し、「協働による成長」をテーマに、国際情勢、食料、養殖、再エネ、インフラ、宇宙等について活発な議論が行われました。NZ 政府からは、ラクソン首相が開会ビデオメッセージを寄せたほか、ワッツ・エネ

ルギー気候変動担当大臣、マクレイ農業兼貿易投資担当大臣、ジョーンズ漁業担当大臣が対面参加するなど、NZ政府から日本企業に対する投資拡大についての強い期待が寄せられています。同時に当地事業者の皆様、和食文化のファンを増やし続けて下さっている方々からも各所でお話を伺いながら、総領事館として様々なビジネスの展開に支援を惜しまない所存ですので、気軽にご連絡をいただきたいと思います。

(4) 補習校をはじめとする当地の教育・キャリア形成

オークランドとワイタケレの補習校については、子供たちの普段の授業のほか、林間学校、運動会、学習発表会などの行事を通じ、次世代を担う子どもたちの育成に関わっていただいております。日本とニュージーランドの架け橋としてここで様々チャレンジする未来の仲間、イノベーターとして成長するのを応援する気持ちで、私も妻も様々な行事に参加して元気をもらいながら、先生方、保護者の方々は勿論、私たち在住日本人ができる限り活動と一緒に支え、その在り方を考えてまいりたいと思います。

また教育の現場は教室のみならず、武道・スポーツ、音楽・芸術を通して当地ならではの心技体、情操教育の機会があり、その道の一流の方々からの学びをお互い共有し、大切にしていきたいと思います。

当館はJETや文科省奨学金のプログラムを通じてニュージーランドの学生のキャリアを引き続き応援していきますが、昨年私自身は、オークランド大学その他現地校の日本語クラスを訪問し、外交や国際機関に飛び込みたい日本人、ニュージーランド人学生と触れ合えたことにも勇気づけられました。

3. 結語

本日は、私と妻の出身である京都の歳神様に捧げる思いで、白いお味噌で根菜と煮込み円満と長寿を願う丸餅のお雑煮など心ばかりのお料理を用意しました。ご堪能いただければと思います。

奇跡的な晴れ間と準備に携わった全ての館員と関係者及び妻の協力に感謝しつつ、本年は挑戦と飛躍のエネルギーの象徴と言われる午年にあやかり、皆さまにとって、そして日本とニュージーランドにとって、実り多く、健やかで、そして新たな希望に満ちた一年となりますことを祈念して私からの挨拶とさせていただきます。

乾杯。

(了)